

平成30年度第1回守谷市総合教育会議 会議録

1 日 時 平成30年4月26日(木) 午後4時～5時15分

2 場 所 守谷市役所議会棟3階 第3委員会室

3 出席者

〔構成員〕 守谷市長 松丸修久

教育委員会

教 育 長 町 田 香

教育長職務代理者 山 本 キ ヨ

委 員 河 原 健

委 員 萩 谷 直 美

委 員 椎 名 和 良

〔事務局〕 教育部長 山 崎 浩 行

教育部次長兼生涯学習課長 飯 塚 哲 夫

7 協議・調整事項

(1) 守谷市立図書館の運営体制について

(2) その他

8 会議の概要

(教育部長)

只今から、「平成30年度第1回守谷市総合教育会議」を開催いたします。

総合教育会議は、法律により会議の成立要件について特段の定めはございませんが、構成員であります、市長、教育長及び教育委員の出席で成立するものと解釈されます。

本日、構成員全員出席であることを、ご報告いたします。

なお、総合教育会議は原則公開とされていますが、本会議での協議内容は、市議会全員協議会に報告を要する事項であります。

報告前に情報を公開するべきではないと判断できますので本会議は非公開とし、ご協議をお願いしたいと思います。

開会に当たりまして、松丸市長から御挨拶をお願いします。

(松丸市長)

皆様、お忙しい中、御出席いただきありがとうございます。

新年度になり、人事異動等もあり、約1ヶ月が経過し課題も出てきていますが、落ち着いてきていると感じています。

本日は、私が最終的に5月上旬頃までには結論を出さなくてはならない図書館の運営体制について、皆様に最終的なご意見を頂戴して方向性を決めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

(教育部長)

ありがとうございました。続きまして、町田教育長から御挨拶をお願いします。

(町田教育長)

市長には、総合教育会議を開催いただきありがとうございます。

先日、新聞に目を通したところ、ふるさと納税の記事がございました。守谷市は納税額が県内で3番目ということでした。これは、市長が様々な場所で守谷市のPRをされてい

ることの結果であると感じています。

学校においては、子どもと保護者の心、気持ちを集め守谷の未来を担う子どもたちを育てていきたいと思っています。

本日の総合教育会議では、様々な観点から意見を述べさせていただきたいと思っていますのでよろしくお願いします。

(教育部長)

ありがとうございました。

早速ですが、協議調整事項として「守谷市立図書館の運営体制について」ご協議をお願いしたいと思います。

それでは、市長よろしくお願いします。

(松丸市長)

前回の総合教育会議でも協議をいただいた図書館運営に関して、本日は図書館の理想のあり方について、特に現場を知る教育委員の皆様には学校図書館との関係性について、どのような姿が望ましいのかご意見を伺いたいと思っています。

(椎名委員)

学校図書館と中央図書館はオンラインで結ばれており、リクエストをすると本が届けられ学校は大変に助かっています。子どもの読書意欲に対し学校にない本を届けてくれることにより、子どもたちはたくさんの本を読んでいるとの印象を持っています。

それから、中央図書館の開館時間が伸びたことで利用し易くなったと感じています。

(町田教育長)

理想ということ言えば、オンラインでつながることも必要ですが、人と人の心のつながりという理想の下に学校図書館が運営できれば、今まで以上に良いものになると思っています。

直営による運営となれば、市内学校の卒業生が関わることもあると思います。そのような人的環境ができれば母校に対する思いが生かされてくると思います。そうなれば学校図書館は人の温かみのある運営ができる状況に変わっていくのではないかとその思いがあります。

(河原委員)

学校図書館に限って言えば、直営の方が連携を取りやすいといえると思います。学校図書館は学校長が責任を持って運営するもので、民間に委託するものではないと思います。

学校図書館は、学習活動を担うセンターの役割があると思います。例えば教科書に登場する作家の詩集等は、中央図書館より蔵書を充実させる必要があると思います。

学校にない資料を中央図書館から借りる、ブックトークができる人材を学校に派遣する等、中央図書館との連携の中で子どもの読書活動を推進していくのであれば直営の方が良いと考えています。

(町田教育長)

学校図書館には、本をただ読むだけでなく、学習センター、資料センターとしての機能を持たせることが求められています。中央図書館とつなげることで子どもたちの学習の広がりが保証されると思っています。

学校長が自校の学校図書館をこのようにしたいと、学校経営として考えることが大切だと思います。それに必要な人的、物的な整備をしていくことを考えれば、指定管理者では

難しいのではないかと思います。

（山本委員）

事務局にお伺いします。指定管理者になって学校図書館との関係での変更点がありますか。

（生涯学習課長）

直営の際は、中央図書館で学校図書館奉仕員を雇用、配置し指導を行ってきました。中央図書館が指定管理になり、学校図書館の業務委託を検討しましたが、経費が掛かり過ぎることを理由に見送り、生涯学習課図書館担当者が指導にあたっているところです。

（町田教育長）

学校図書館の運営形態に大きな特色として打ち出すのであれば、今まで以上に手厚く予算を投入していかなければ難しいし、これを具現化するような人材の配置は必ず必要だと思っています。

（山本委員）

伺いたいのですが、学校図書を選定はどのように行い、また各校の図書の充足率はどのような状況ですか。

（生涯学習課長）

充足率を大きく満たしていないのは守谷小学校で、また、他2校で満たしていない状況です。

選書は、主に学校で実施し、中央図書館では選書のアドバイスをしています。

（河原委員）

学校図書館と読書活動を充実させるには、一つとして学校長の役割が重要だと思います。二つとして司書教諭、三つとして教育委員会の体制であると考えています。

教育委員会の体制として司書教諭に指導できる人材は不可欠であると思います。これを民間に求めるのは無理なことだと思います。

（町田教育長）

委員のご意見のとおり、学校長の経営力が重要なことだと思います。学校経営の構想で何を重点とするかを掲げ、それに沿った学校図書館の運営を行っていけば、それに見合う蔵書が多くなる、これが学校の特色だといえると思います。目的、ねらいの達成を、学校図書館にも担ってもらうことが大切であると思います。

人員の数と経費を中心に考えてしまうと、特色ある学校図書館にすることは難しいと思います。

（松丸市長）

学校図書館との関係性について、ご意見をいただきありがとうございます。

指定管理者の方が、ここは優れているようなことがあればご意見をお願いします。

（椎名委員）

数年前ですが、指定管理者導入前の審議会に出席する機会がありました。審議会では、何人の方が利用し、どのような蔵書が必要かという部分、経済的なことが中心になっていたという印象を持ちました。図書館が持つ文化面を考慮しなくてはいけないのではと意見をさせていただきました。

（河原委員）

前回の総合教教育会議でも意見させていただきましたが、そもそも図書館は指定管理者

制度になじまないと思っています。

思っています。指定管理者にする判断をし、僅かな期間で直営に戻しますというの
もどうかという思いは少しあります。

ただ、学校図書館との連携強化については直営の方が良いので、注力して進めていくの
であれば直営ということだと思います。

(山本委員)

前回の会議での教育委員会の総意として、図書館協議会の答申を尊重するという
ことで結論をしたところです。

私としては、直営にするには、少し早いかなという疑問を持っていますが、教育委員会
が諮問した、図書館協議会の答申結果は尊重するべきだと思います。

(萩谷委員)

学校図書館は、本の貸し出しだけでなく、温かみがあり、子ども重視の対話がある場所
であるべきだと思います。

また、中央図書館で読書感想文の課題図書を選び方等の講座を実施する等、子どもたち
に本を借りるだけの場所ではないことを知ってもらう機会を作っていただけたら嬉しい
です。

中央図書館の指定管理と直営については、子どもたちや保護者からは意見はでてきてい
ないと思います。

(町田教育長)

図書館協議会からの答申は尊重すべきだと思います。ただ、その結果を踏まえ直営
にする場合、市として今まで以上に覚悟を決めてやっていく姿勢がないといけないと思
います。直営にして、前と何が変わったということでは問題があると思います。

(河原委員)

直営にしても、指定管理者が実施していることは継続していく必要があると思
います。直営にして、サービスの評価が低下することはあってはならないので、教育委員会も覚悟
して取り組んでいく必要があると思います。

(松丸市長)

様々なご意見や私のこれまでの考え方もありますが、開館時間等のサービスは実施して
いけば良いことだと思います。何より、学校教育にスタンスを置き、子どもたちにと
って良い方を選択するべきだと考えています。

公と民間では、そもそも目的が違っており図書館に民間が合うのか、図書館は利益を生
み出す施設ではなく、利益を目的としたサービスではないと思っています。NPOや
独立行政法人など利益を目的としない団体であれば、また違うのかという思いはあります。

皆さんの意見にもありましたが、結論するには早いところはあると思いますが、指定管理者を
継続して良くなる部分が私には見えないところがあります。行政が民間に任せるサービス
とそうではないサービスを見分けなくてはならないと思いますし、図書館や学校は人の思
いがある成り立つものだという思いがあります。学校との結びつきを考え、直営の方が
良いということであれば、そちらに舵をとるべきだと思います。

(山本委員)

前回の総合教育会議で教育委員の意見を述べ、それに対する市長のお考えを伺え大変嬉
しく思っています。

今後も総合教育会議を開催し、私どもの意見を聞いていただき、市長のお考えを伺えるようよろしくお願いします。

(松丸市長)

わかりました。

その他、何かございますか。

－特になし－

(教育部長)

これをもちまして、協議を終了し第1回目の総合教育会議を閉会させていただきます。